

下水道事業会計 (企業会計)

P.71 以降 ☆は拡充事業、下線部は内容
() 内は前年度予算額

公営企業会計の概要について

1 一般会計等との違い

	官庁会計 【一般会計、特別会計】	公営企業会計 【下水道事業会計等】	企業会計 【民間企業】
会計原則	単式簿記・現金主義	発生主義・複式簿記	発生主義・複式簿記
作成書類等	予・決算書のほか事項別明細書等の説明資料	予・決算書のほか貸借対照表、損益計算書等の説明資料	貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書等

2 独立採算制

地方公営企業は、公共性と経済性を発揮しつつ、**独立採算を維持することが原則**であり、必要な経費は利用者に支払っていただく使用料によって賄っていく必要があります。

その一方で、本来一般会計で担うべき事業や、政策的に実施される採算ベースに乗りにくい事業など、**使用料収入によって経費を賄うことが適しない事業については、一般会計が応分の費用を負担**することとなっており、繰出金（負担金、補助金、出資金）として公営企業会計に支払います。

【下水道事業会計への一般会計繰出金】

- ・汚水は使用料等で、雨水は一般会計負担で処理することが基本です。（**雨水公費・汚水私費の原則**）
- ・汚水経費のうち、処理水の水質向上などに係る経費の一部は一般会計が負担しています。

※一般会計が負担する経費は、毎年、総務省通知「地方公営企業繰出金について」で定められています。

3 収益的収支と資本的収支

下水道事業会計は、**収益的収支と資本的収支から構成**されています。

●収益的収支

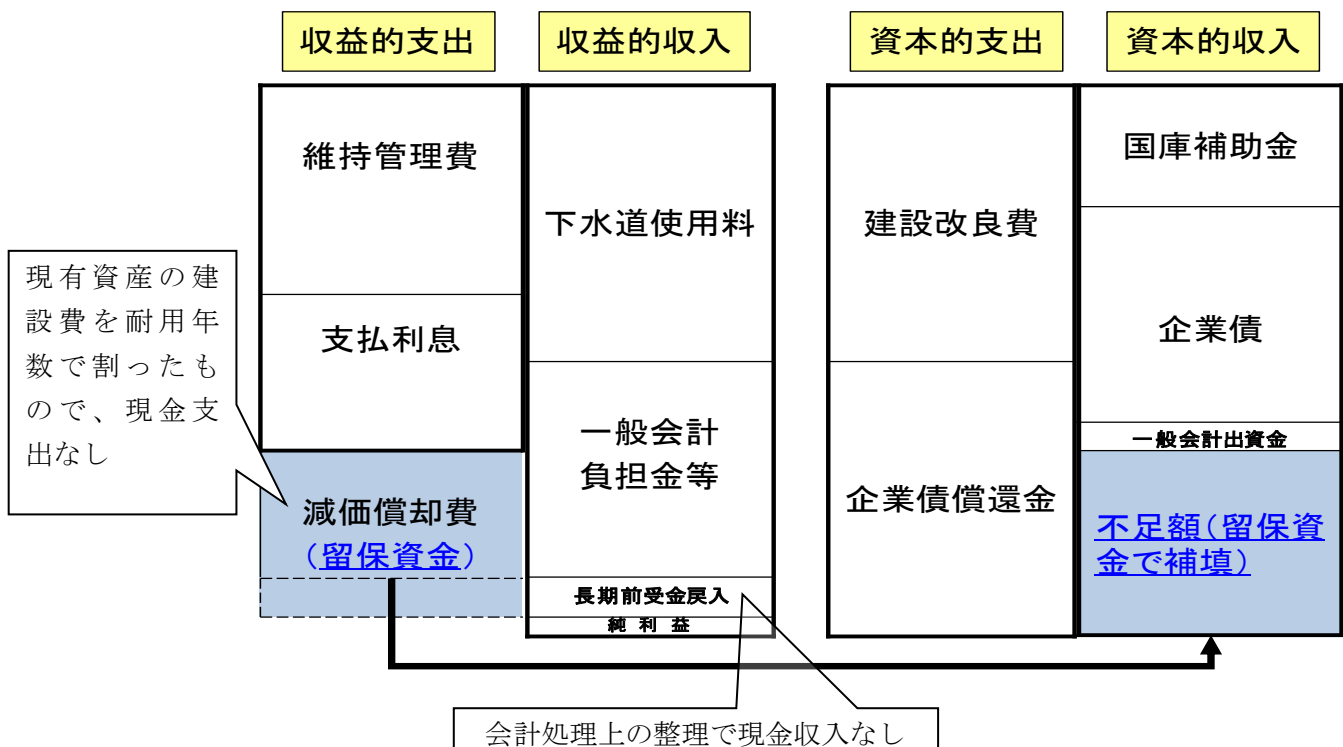
- ・収入) 当年度の使用料、雨水処理に係る一般会計からの負担金など
- ・支出) 下水道施設の運転・修繕等の維持管理費、設備等の減価償却費、企業債の支払利息

●資本的収支

- ・収入) 建設経費に対する国庫補助金、一般会計からの出資金のほかは、借入金である企業債
- ・支出) 施設の新設・再整備などの建設改良費、過去の借入金の企業債償還金等

【公営企業会計の特徴】

◇**資本的収支の不足分は、収益的支出の減価償却費（損益勘定留保資金）などで補てん**します。



＜下水道事業会計予算案総括表＞

収入及び支出内訳

(税込) (単位:千円)

区 分	本年度	前年度	増△減	主な増減理由
支出合計 (A + B)	248,389,674	245,035,414	3,354,260	

＜収益的収支＞

収益的収入	130,463,786	133,939,116	△ 3,475,330	
下水道使用料	60,074,020	61,138,122	△ 1,064,102	総排出量の減
一般会計負担金等 (ア)	37,485,202	40,531,768	△ 3,046,566	雨水処理経費の減
長期前受金戻入	30,152,724	29,721,616	431,108	
その他	2,751,840	2,547,610	204,230	
収益的支出 (A)	126,511,106	122,282,772	4,228,334	
維持管理費	43,369,935	38,572,617	4,797,318	電気料金等の増
減価償却費等	77,871,124	77,835,737	35,387	
支払利息等	3,916,513	4,515,573	△ 599,060	企業債借入金残高の減少に伴う減平均利率の減
その他	1,353,534	1,358,845	△ 5,311	
収益的収支差引	3,952,680	11,656,344	△ 7,703,664	
消費税等調整額	2,222,359	2,688,418	△ 466,059	
純利益	1,730,321	8,967,926	△ 7,237,605	

＜資本的収支＞

資本的収入	73,529,072	71,292,402	2,236,670	
国庫補助金	14,176,487	14,286,664	△ 110,177	
企業債	58,925,000	56,447,000	2,478,000	
下水道整備事業費充当企業債	39,247,000	36,809,000	2,438,000	企業債対象事業の増
借換債	19,678,000	19,638,000	40,000	
一般会計出資金 (イ)	413,818	542,725	△ 128,907	
その他	13,767	16,013	△ 2,246	
資本的支出 (B)	121,878,568	122,752,642	△ 874,074	
下水道整備費	57,943,464	55,981,498	1,961,966	下水道施設の老朽化対策等に伴う増
下水道改良費	1,124,099	1,129,099	△ 5,000	
給与費	2,038,287	2,001,323	36,964	
企業債償還金	60,538,781	63,446,864	△ 2,908,083	償還期限を迎える企業債の減
企業備品購入費等	233,937	193,858	40,079	
資本的収支差引	△ 48,349,496	△ 51,460,240	3,110,744	

◆ 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額48,349,496千円は、当年度損益勘定留保資金等で補てんします。

一般会計繰入金計 (ア)+(イ)	37,899,020	41,074,493	△ 3,175,473
------------------	------------	------------	-------------

＜下水道事業会計予算案総括表（支出関係・目別）＞

支出関係

(税込) (単位:千円)

維持管理に係る支出（収益的支出）	本年度	前年度	増△減	増減率
1款 下水道管理費	126,511,106	122,282,772	4,228,334	3.5%
1項 営業費用	121,241,059	116,408,354	4,832,705	4.2%
1目 管 ぎ よ 費	7,455,032	7,569,482	△114,450	△ 1.5%
2目 ポ ン プ 場 費	4,296,853	3,326,154	970,699	29.2%
3目 処 理 場 費	20,368,348	16,471,626	3,896,722	23.7%
4目 排 水 設 備 費	159,310	116,816	42,494	36.4%
5目 業 務 費	144,529	137,158	7,371	5.4%
6目 水道事業会計繰出金	5,000,000	4,900,000	100,000	2.0%
7目 総 係 費	290,979	274,729	16,250	5.9%
8目 下水道研究費	59,058	54,848	4,210	7.7%
9目 工場排水対策費	34,508	34,469	39	0.1%
10目 減 価 償 却 費	76,896,931	76,605,495	291,436	0.4%
11目 資 産 減 耗 費	974,193	1,230,242	△256,049	△ 20.8%
12目 給 与 費	5,561,318	5,687,335	△126,017	△ 2.2%
2項 営業外費用	4,833,917	5,732,286	△898,369	△ 15.7%
1目 支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	3,916,513	4,515,573	△599,060	△ 13.3%
2目 消費税及び地方消費税	843,255	1,140,000	△296,745	△ 26.0%
3目 雑 支 出	74,149	76,713	△2,564	△ 3.3%
3項 特別損失	426,130	132,132	293,998	222.5%
1目 固定資産売却損	227,254	-	227,254	-
2目 災害による損失	158,414	91,670	66,744	72.8%
3目 その他特別損失	40,462	40,462	-	-
4項 予備費	10,000	10,000	-	0.0%
1目 予 備 費	10,000	10,000	-	0.0%

建設投資に係る支出（資本的支出）	本年度	前年度	増△減	増減率
1款 下水道事業資本的支出	121,878,568	122,752,642	△874,074	△ 0.7%
1項 建設改良費	61,326,614	59,292,212	2,034,402	3.4%
1目 下水道整備費	57,943,464	55,981,498	1,961,966	3.5%
2目 下水道改良費	1,124,099	1,129,099	△5,000	△ 0.4%
3目 企業備品購入費	186,834	142,167	44,667	31.4%
4目 リース債務支払額	33,930	38,125	△4,195	△ 11.0%
5目 給 与 費	2,038,287	2,001,323	36,964	1.8%
2項 企業債償還金	60,538,781	63,446,864	△2,908,083	△ 4.6%
1目 企業債償還金	60,538,781	63,446,864	△2,908,083	△ 4.6%
3項 投資	3,173	3,566	△393	△ 11.0%
1目 水洗便所改造資金貸付金	3,173	3,566	△393	△ 11.0%
4項 予備費	10,000	10,000	-	0.0%
1目 予 備 費	10,000	10,000	-	0.0%

■債務負担行為

新たに債務負担行為をするもの

事 項	期 間	限 度 額
中 大 口 径 管 包 括 的 維 持 管 理 委 託	令和6年度から 令和9年度まで	限度額 2,400,000千円
下 水 道 管 き ょ 修 繕 工 事 及 び 維 持 管 理 委 託	令 和 6 年 度	限度額 830,000千円
ポ ン プ 場 修 繕 工 事	令 和 6 年 度	限度額 500,000千円
北 部 汚 泥 資 源 化 セ ン タ ー 下 水 汚 泥 処 理 設 備 の 整 備 及 び 維 持 管 理	令和6年度から 令和20年度まで	限度額 2,100,000千円
水 再 生 セ ン タ ー 修 繕 工 事	令 和 6 年 度	限度額 1,200,000千円
下 水 道 整 備 工 事 及 び 設 計 ・ 測 量 等 委 託	令和6年度から 令和9年度まで	限度額 47,000,000千円
エ キ サ イ ト よ こ は ま 龍 宮 橋 雨 水 幹 線 整 備 工 事	令和6年度から 令和12年度まで	限度額 30,000,000千円
水 再 生 セ ン タ ー ・ ポ ン プ 場 改 良 工 事	令 和 6 年 度	限度額 500,000千円

■下水道施設の維持管理・再整備・再構築と予算支出科目

◇ 管きよ

実施内容		支出科目
日常的な点検・調査及び修繕		P71 (1) 管きよ費 1 管きよ等維持管理事業
改築	再整備	P79 (20) 下水道整備費 3 (2) ア 下水道管の再整備
	更新 長寿命化	

◇ 水再生センター、ポンプ場等

実施内容		支出科目
日常的な点検・調査及び修繕		P71 (2) ポンプ場費 1 ポンプ場事業 P72 (3) 処理場費 1 水再生センター事業
改築	再整備	P79 (20) 下水道整備費 3 (2) イ 水再生センター・ポンプ場等の再整備・再構築
	更新 長寿命化	
	再構築	
改良	P79 (21) 下水道改良費 1 水再生センター・ポンプ場等の改良	

改築 : 再整備、再構築および改良のこと

再整備 : 耐用年数を超過した施設・設備に対して行う更新や長寿命化のこと

更新 : 施設・設備の全部を取り換えること

長寿命化 : 耐用年数の変更を伴う、施設・設備の一部取換えや管更生を実施すること

再構築 : 機能の維持・向上を図りながら耐用年数を超過した施設の解体・新規築造を行うこと

改良 : 経年劣化や設置環境等により機能低下した施設・設備に対して機能回復・向上及び耐用年数の延長を図ること

修繕 : 耐用年数の変更を伴わない、施設・設備の一部取換えや管更生を実施すること

■維持管理に係る支出（収益的支出）

(1)	管きよ費 収益的支出 1款1項1目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		7,455,032	7,569,482	△114,450	—	—	24,914	7,430,118
1 管きよ等維持管理事業					6,922,105千円(7,026,451千円)			
約11,900kmの下水道管きよについて、ストックマネジメントの推進等、総合的な維持管理を進めます。								
(1) スtockマネジメントの推進（清掃・点検・修繕）					6,456,805千円(6,694,051千円)			
管きよの清掃に合わせたスクリーニング調査等の結果を踏まえ、状態監視保全を基本とした計画的な維持管理・改築を推進します。中大口径管では、包括的民間委託を導入し、状態把握と修繕を適切に実施するなど、維持管理の一層の効率化を図ります。								
また、土木事務所と連携し、管きよの清掃による不具合の解消、点検や路面下空洞化調査等により、下水道起因による陥没事故を未然に防止します。台風時等の下水道施設の被害についても、迅速な緊急対応に努めます。								
(2) 効率的な雨水管理の推進等					465,300千円(332,400千円)			
雨水貯留施設における水位情報をもとにした既存施設の有効活用の検討、雨天時の污水管への浸入水対策など適切な雨水管理に努めます。また、再生水を活用し整備したせせらぎについて、地域の方々と土木事務所が連携し、適切な修繕を行い、魅力ある水・緑環境を維持します。								
2 下水道台帳等管理事業					532,927千円(543,031千円)			
膨大な下水道管きよストックを管理するため、下水道台帳を作成し、システムにて運用しています。運用に当たり、管きよの維持管理情報を蓄積することで維持管理の効率化を進めるとともに、台帳情報を市庁舎の専用端末や市ホームページにて提供しています。								
(2)	ポンプ場費 収益的支出 1款1項2目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		4,296,853	3,326,154	970,699	—	—	17,210	4,279,643
ポンプ場では、雨水を速やかに排除することで浸水を防止するとともに、家庭などからの自然流下が困難な汚水を水再生センターへ送水します。								
また、主ポンプや自家発電設備などの主要設備については、予防保全型の維持管理により計画的な修繕を推進し、長寿命化を図ります。								
1 ポンプ場事業					4,296,853千円(3,326,154千円)			
大型ポンプ場26か所、地下道などが降雨時に浸水しないための小規模排水ポンプ場25か所及び自然流下が困難な汚水を中継するマンホールポンプ施設20か所の維持管理を行い、省エネルギーや温室効果ガス削減に努めます。								

(3)	処理場費 収益的支出 1 款 1 項 3 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		20,368,348	16,471,626	3,896,722	—	—	2,496,775	17,871,573

水再生センターでは、家庭や事業所から流れてくる汚水を浄化し海や川の水質を保全するとともに、大雨を速やかに排除し浸水を防止しています。

汚泥資源化センターでは、水再生センターの処理工程で発生する汚泥から消化ガスを取り出し発電等に利用するとともに、汚泥の燃料化や焼却による減量化を図ります。

1 水再生センター事業 20,368,348 千円(16,471,626 千円)

11 か所の水再生センター、2 か所の汚泥資源化センターの維持管理を行い、適切な運転管理のもと電力使用量の多い送風機や主ポンプの電力を削減するなど、省エネルギーや温室効果ガス削減に努めます。

また、汚泥燃料化施設、改良土プラントの管理運営を P F I 事業で実施し、汚泥の有効利用及び温室効果ガス削減を行います。

経営の効率化については、場内清掃点検業務、汚泥資源化センター等包括的管理委託を継続し、また、汚泥処理で発生した消化ガスを用いて発電し、固定価格買取制度で売電を図るなど維持管理費の節減に努めます。

(4)	排水設備費 収益的支出 1 款 1 項 4 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		159,310	116,816	42,494	720	—	614	157,976

1 排水設備運営事業 149,939 千円(107,415 千円)

未水洗化世帯の水洗化及び排水設備の適正な設置を促進するため、水洗化の指導・相談・助成制度の運用・宅地内排水設備工事の検査・工事店の指定などを行うとともに、効率的な排水設備計画確認業務のための電子化を進めます。

また、災害時の自助・共助の促進を図る取り組みとして、マンホールトイレ設置助成を行います。

2 グリーンインフラ活用促進事業 9,371 千円(9,401 千円)

雨水の保水・浸透機能を高める取組として、雨水貯留タンクや宅内雨水浸透ますの設置に係る助成と併せて、農地への浸透を促進する雨水流出対策を行います。

(5)	業務費 収益的支出 1 款 1 項 5 目	本 年 度	前 年 度	差 引	本 年 度 財 源 内 訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		144,529	137,158	7,371	—	—	15,681	128,848

公共下水道に排水している一般世帯・事業所等に対し、適正に下水道使用料の徴収を行います。

1 下水道使用料徴収経費 **124,475 千円(118,812 千円)**

公共下水道への接続確認調査や使用水量の認定等を行い、下水道使用料を適正に徴収します。

2 市境相互負担金 **20,054 千円(18,346 千円)**

隣接する各市との市境区域で、地形上やむを得ない理由から、引き続き、「下水の排除及び処理事務の相互委託に関する協定」に基づいて、下水道施設の相互利用にかかる経費について負担します。(川崎市、町田市、鎌倉市、藤沢市)

(6)	水道事業会計 繰出金 収益的支出 1 款 1 項 6 目	本 年 度	前 年 度	差 引	本 年 度 財 源 内 訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
					千円	千円	千円	千円
		5,000,000	4,900,000	100,000	—	—	—	5,000,000

下水道使用料の徴収を水道局へ委任することに伴う徴収事務に要する諸経費について負担します。

1 水道事業会計繰出金 **5,000,000 千円(4,900,000 千円)**

料金の徴収形態を同一とする水道事業、下水道事業の2事業体が、同一の利用者に対して各々、独自に徴収業務を行うことは非効率、不経済であることから、経費節減、効率的な事業執行を図るために「下水道使用料の徴収等を水道事業管理者に委任する規則」に基づき、水道利用に係る下水道使用料については水道局に徴収を委任します。そのため、発生する諸経費について負担します。

(7)	総係費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	収益的支出				国・県	企業債	その他	使用料等
	1 款 1 項 7 目				千円	千円	千円	千円
		290,979	274,729	16,250	—	—	36,004	254,975

- 1 下水道広報事業** 15,500 千円(12,757 千円)
下水道関連イベント（「水の日」など）への参加や、デジタルメディアなど各種広報媒体を積極的に活用し、わかりやすい広報活動を展開します。
- 2 下水道事業経営研究事業** 4,304 千円(5,520 千円)
学識経験者等により構成され、広く専門的な見地から今後の施策や財政運営など経営に関し、調査研究及び審議を行う附属機関「横浜市下水道事業経営研究会」を運営します。
- 3 海外水ビジネス展開支援事業** 28,457 千円(37,985 千円)
横浜のプレゼンス向上及び市内企業等のビジネスチャンスの拡大につなげるため、横浜水ビジネス協議会会員企業と連携した海外調査や海外関係者とのビジネスマッチング、フィリピンやベトナム等で下水道整備等のビジネスチャンスの創出に向けた技術協力などを推進します。
- 4 下水道国際交流事業** 20,097 千円(17,729 千円)
本市の今後の下水道事業に活かすため、海外の下水道事業者との技術交流等を実施し、先進的な知見や技術の情報収集を図るとともに、人材育成を進めます。
- 5 下水道総務費等** 222,621 千円(200,738 千円)
職員の人材育成や被服の購入及び財務会計システムの改善・運用等に係る経費、また、建物および設備の維持管理に関する負担金等の一般会計への負担金を計上します。

(8)	下水道研究費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
	収益的支出				国・県	企業債	その他	使用料等
	1 款 1 項 8 目				千円	千円	千円	千円
		59,058	54,848	4,210	—	—	—	59,058

- 1 下水道 DX** 18,000 千円(18,000 千円)
施設の老朽化など下水道事業を取り巻く環境が急速に変化する中でも、安定的・持続的に下水道サービスを提供していくために、デジタル技術を積極的かつ効果的に活用し、市民サービスの向上や業務の効率化等に資する取組を推進します。
- 2 技術開発** 37,058 千円(36,848 千円)
下水道分野における温室効果ガスの削減に努め、下水道資源の有効活用等に資する最先端の技術や知見に関わる調査・研究に取り組みます。
- 3 ☆下水道資源の更なる活用（農との連携）** 4,000 千円(-)
北部下水道センター内農業用ハウスにおいて、下水道資源を活用した水耕栽培を行い、その有用性や安全性等を検証します。

	工場排水対策費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
(9)	収益的支出	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	1款1項9目	34,508	34,469	39	—	—	8	34,500

下水道施設の適正な保全・維持管理を図るため、下水道法等に基づいて事業場への規制・指導を行います。

1 工場排水対策事業 **34,508千円(34,469千円)**

下水処理区域内の事業場に対し、下水道法等に基づき除害施設の設置、改善等の指導や排水の監視、規制等を行います。

	減価償却費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
(10)	収益的支出	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	1款1項10目	76,896,931	76,605,495	291,436	—	—	29,770,064	47,126,867

償却資産について、適正な期間損益の計算を目的に、資産の使用に伴って発生する価値の減少(減価)分を費用化します。

1 減価償却費 **76,896,931千円(76,605,495千円)**

	資産減耗費	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
(11)	収益的支出	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	1款1項11目	974,193	1,230,242	△256,049	—	—	382,660	591,533

滅失、破損した資産及び使用不能となった資産について、経済的価値の実態を反映させるため、除却時に帳簿価額の全部又は一部を費用化します。

1 資産減耗費 **974,193千円(1,230,242千円)**

(12)	給与費 収益的支出 1 款 1 項 12 目	本年度 千円 5,561,318	前年度 千円 5,687,335	差引 千円 △126,017	本年度財源内訳			
					国・県 千円 -	企業債 千円 -	その他 千円 -	使用料等 千円 5,561,318
下水道事業の維持管理に係る人件費を計上します。								
1 給与費					5,561,318 千円 (5,687,335 千円)			
(13)	支払利息及び 企業債取扱諸 費 収益的支出 1 款 2 項 1 目	本年度 千円 3,916,513	前年度 千円 4,515,573	差引 千円 △599,060	本年度財源内訳			
					国・県 千円 -	企業債 千円 -	その他 千円 1,500	使用料等 千円 3,915,013
企業債に係る利息及び取扱諸費等を計上します。								
1 支払利息及び企業債取扱諸費					3,916,513 千円 (4,515,573 千円)			
(14)	消費税及び地 方消費税 収益的支出 1 款 2 項 2 目	本年度 千円 843,255	前年度 千円 1,140,000	差引 千円 △296,745	本年度財源内訳			
					国・県 千円 -	企業債 千円 -	その他 千円 -	使用料等 千円 843,255
消費税及び地方消費税を納付します。								
1 消費税及び地方消費税					843,255 千円 (1,140,000 千円)			
(15)	雑支出 収益的支出 1 款 2 項 3 目	本年度 千円 74,149	前年度 千円 76,713	差引 千円 △2,564	本年度財源内訳			
					国・県 千円 -	企業債 千円 -	その他 千円 -	使用料等 千円 74,149
過年度分の下水道使用料の過誤納による還付等、他の科目に属さない経費を計上します。								
1 雑支出					74,149 千円 (76,713 千円)			

	固定資産売却損	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
(16)	収益的支出 1款3項1目	千円 227,254	千円 -	千円 227,254	千円 -	千円 -	千円 -	千円 227,254
<p>下水道事業用地の一部を所管換するにあたり、土地の取得価額を固定資産売却損として計上します。</p> <p>1 固定資産売却損 227,254千円(-)</p>								
	災害による損失	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
(17)	収益的支出 1款3項2目	千円 158,414	千円 91,670	千円 66,744	千円 -	千円 -	千円 158,414	千円 -
<p>屋外に保管されている汚泥焼却灰について、保管等に伴う経費を計上します。</p> <p>1 汚泥焼却灰保管等に係る経費 158,414千円(91,670千円)</p>								
	その他特別損失	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
(18)	収益的支出 1款3項3目	千円 40,462	千円 40,462	千円 0	千円 -	千円 -	千円 -	千円 40,462
<p>工事一時中止等に伴う経費を計上します。</p> <p>1 工事一時中止等に伴う経費 40,462千円(40,462千円)</p>								
	予備費 収益的支出	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	使用料等
(19)	1款4項1目	千円 10,000	千円 10,000	千円 0	千円 -	千円 -	千円 -	千円 10,000
<p>予備費を計上します。</p> <p>1 予備費 10,000千円(10,000千円)</p>								

■建設投資に係る支出（資本的支出）

(20)	下水道整備費 資本的支出 1 款 1 項 1 目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良 積立金等
					千円	千円	千円	千円
		57,943,464	55,981,498	1,961,966	14,176,487	39,247,000	11,225	4,508,752

快適で安全・安心な市民生活の確保に向けて、浸水対策、地震対策、下水道の再整備・再構築や循環型社会、脱炭素社会へ向けた取組を着実に進めます。

- 1 災害に強いまちづくり 15,019,206 千円 (16,048,843 千円)
- (1) 浸水対策 8,182,920 千円 (10,064,373 千円)
- ア ☆計画的な浸水対策の着実な推進 5,604,220 千円 (6,618,373 千円)
- 市域全域で、過去に浸水被害を受けた地区において、地域の雨水排水の骨格となる雨水幹線や雨水を貯留する雨水調整池等の施設整備を進めます。また、近年の気候変動の影響による大雨を踏まえ、新たに『浸水対策プラン』を策定します。
- イ 横浜駅周辺地区における下水道整備 1,815,700 千円 (2,860,000 千円)
- 都市機能が集積している横浜駅周辺地区において、エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線の整備を引き続き進めるとともに、東高島ポンプ場の建設に向け事業を進めます。
- ウ ☆水再生センター等の耐水化の推進 321,000 千円 (145,000 千円)
- 豪雨時の浸水による水再生センターやポンプ場の機能停止を防ぐため、施設の開口部等からの浸水を防ぐ耐水化を進めます。
- エ ☆自助・共助の促進支援 120,000 千円 (120,000 千円)
- ウェブサイト上で横浜駅西口周辺の下水道管内の水位情報をリアルタイムで提供します。また、新たに横浜駅東口の情報提供を開始するとともに、戸塚駅周辺での調査を進め、取組の拡充を図っていきます。
- オ 下水道BCP（業務継続計画）【水害編】に基づく危機管理体制の確保 10,000 千円 (10,000 千円)
- 大雨に備え、下水道の機能を確保するため、横浜市下水道 BCP【水害編】に基づく訓練を通じて災害対応力の向上を図ります。
- カ グリーンインフラの活用（貯留浸透機能の強化） 312,000 千円 (311,000 千円)
- 公園の整備にあわせた雨水の貯留浸透機能向上を図る取組などを進めます。
- (2) 地震対策 6,836,286 千円 (5,984,470 千円)
- ア ハマッコトイレ（災害時下水直結式仮設トイレ）の整備 592,500 千円 (626,000 千円)
- 震災時に地域防災拠点等でトイレが使用できるようハマッコトイレの整備を進めます。
- イ 下水道施設の耐震性能の向上 6,233,786 千円 (5,348,470 千円)
- 地域防災拠点等流末・緊急輸送路・水再生センターなどの耐震化に加え、津波対策として電気設備の高所化などを進めます。
- ウ 下水道 BCP（業務継続計画）【地震・津波編】に基づく危機管理体制の確保 10,000 千円 (10,000 千円)
- 震災時においても、下水道の機能を確保するため、横浜市下水道 BCP【地震・津波編】に基づく訓練を通じて災害対応力の向上を図ります。

- 2 良好な環境の創出 10,523,213 千円(9,396,021 千円)
- (1) 良好な水環境の創出 10,043,258 千円(8,910,836 千円)
- ア 下水処理機能の向上 9,697,242 千円(8,454,836 千円)
設備機器の更新に併せて窒素やリンを除去する高度処理の導入などを進めます。
- イ 合流式下水道の改善 346,016 千円(456,000 千円)
良好な水環境の創出に向けて、雨水吐の改良を進めます。
- (2) 循環型社会への貢献 479,955 千円(485,185 千円)
汚泥資源化センターの汚泥処理有効利用事業に引き続き取り組みます。
- 3 市民生活を支える下水道の管理 32,266,865 千円(30,511,634 千円)
- (1) 効率的な調査の推進 906,000 千円(869,000 千円)
下水道管の清掃に合わせたノズルカメラによるスクリーニング調査を実施します。
- (2) 老朽化対策 31,360,865 千円(29,642,634 千円)
- ア ☆下水道管の再整備 13,745,463 千円(12,200,000 千円)
全市域の下水道管を対象に、老朽化の進行度や発見した不具合の内容に応じた計画的な再整備を着実に進めます。また、取付管再整備の一層の推進に向け、発注業務の効率化を進めます。
- イ 水再生センター・ポンプ場等の再整備・再構築 16,500,202 千円(16,770,244 千円)
老朽化した設備等の再整備を着実に進めるとともに、土木構造物の標準耐用年数 50 年を経過した水再生センターにおいて下水道施設の再構築を進めます。
- ウ 高効率・省エネ設備の導入 1,115,200 千円(672,390 千円)
機器の高効率・省エネ化を着実に進めます。
- 4 ☆温室効果ガスの削減 134,180 千円(25,000 千円)
金沢水再生センター等において自家消費型の太陽光発電設備などの導入を進めます。

(21)	下水道改良費 資本的支出 1 款 1 項 2 目	本年度 千円	前年度 千円	差引 千円	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良 積立金等
					千円	千円	千円	千円
		1,124,099	1,129,099	△5,000	—	—	—	1,124,099

経年劣化により機能低下した水再生センター・ポンプ場等の設備を改良し、機能回復と耐用年数の延長を図ります。

- 1 水再生センター・ポンプ場等の改良 1,124,099 千円(1,129,099 千円)
水再生センター11 か所、汚泥資源化センター 2 か所、大型ポンプ場 26 か所等の設備を対象に改良工事を施工します。改良にあたっては、省エネルギー機器の導入などにより、維持管理費増大の抑制に努めます。
- ・電気設備改良工事 11 件
 - ・機械設備改良工事 19 件

(22)	企業備品購入費 資本的支出 1款1項3目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良積立金等
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		186,834	142,167	44,667	—	—	—	186,834
<p>事業実施に必要な企業備品（車両又は機械・装置の附属設備に含まれない器具備品）を購入します。</p> <p>企業備品とは、耐用年数が1年以上、かつ取得価額が10万円（税抜）以上の備品です。</p> <p>1 企業備品購入費 186,834千円(142,167千円) 災害対応用ポンプ 一式 等</p>								
(23)	リース債務支払額 資本的支出 1款1項4目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良積立金等
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		33,930	38,125	△4,195	—	—	—	33,930
<p>リース資産の本年度のリース料について執行します。</p> <p>1 リース債務支払額 33,930千円(38,125千円)</p>								
(24)	給与費 資本的支出 1款1項5目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	建設改良積立金等
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		2,038,287	2,001,323	36,964	—	—	—	2,038,287
<p>下水道事業の建設改良に係る人件費を計上します。</p> <p>1 給与費 2,038,287千円(2,001,323千円)</p>								

(25)	企業債償還金 資本的支出 1款2項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	損益勘定 留保資金等
					千円	千円	千円	千円
		60,538,781	63,446,864	△2,908,083	—	19,678,000	—	40,860,781

過去に下水道整備費等の財源として発行した企業債の当年度償還金を計上します。

1 企業債償還金 60,538,781 千円 (63,446,864 千円)

(26)	水洗便所改造 資金貸付金 資本的支出 1款3項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	損益勘定 留保資金等
					千円	千円	千円	千円
		3,173	3,566	△393	—	—	2,542	631

処理区域内において、水洗化を促進するため、水洗化工事等の工事費の一部について、貸付けを行います。

1 水洗便所改造資金貸付事業 3,173 千円 (3,566 千円)

(27)	予備費 資本的支出 1款4項1目	本年度	前年度	差引	本年度財源内訳			
					国・県	企業債	その他	損益勘定 留保資金等
					千円	千円	千円	千円
		10,000	10,000	0	—	—	—	10,000

予備費を計上します。

1 予備費 10,000 千円 (10,000 千円)

下水道事業の主な整備内容

行政区	主な整備内容	
	下水道管	水再生センター等 (P:ポンプ場、T:水再生センター、C:汚泥資源化センター)
鶴見	①駒岡地区 ②東寺尾北台地区	北一T:⑤ポンプ設備 ⑥護岸耐震化 ⑦水処理施設防食覆蓋 北二T:⑥護岸耐震化 ⑦水処理施設防食覆蓋 ⑧発電設備 ⑨水処理設備(高度処理) ⑩特別高圧電気設備 北部C:⑪汚泥濃縮タンク ⑫し渣分離設備 ⑬分離液沈殿設備 鶴見P:⑭沈砂池設備
神奈川	③西寺尾地区 ④平川地区	神奈川T:⑮送風機設備 ⑯耐水化 ⑰汚泥貯留槽 ⑱ろ過設備
西	⑤エキサイトよこはま龍宮橋雨水幹線(一部神奈川区を含む) ⑥平沼地区	桜木P:⑲ポンプ設備 ⑳ガスタービン設備 平沼P:㉑ポンプ設備
中	⑦本牧地区 ⑧千代崎地区 ⑨仲尾台第二合流幹線	中部T:㉒送風機設備 ㉓高速ろ過施設 ㉔ポンプ棟耐水化 ㉕水処理施設防食覆蓋 ㉖水処理設備
南	⑩大岡川右岸幹線 ⑪永田北地区 ⑫大岡地区	
港南	⑬日野地区 ⑭上永谷地区 ⑮日野南地区(地域防災拠点等流末枝線) ⑯上大岡西地区 ⑰丸山台地区(地域防災拠点等流末枝線)	
保土ヶ谷	⑱仏向地区 ⑲天王町地区 ⑳星川地区(地域防災拠点等流末枝線)	
旭	㉑本宿地区(地域防災拠点等流末枝線) ㉒二俣川地区	
磯子	㉓岡村合流幹線 ㉔洋光台地区	南部T:㉕送風機 ㉖放流渠 ㉗配電設備 ㉘送風機 ㉙消毒設備 ㉚水処理設備(高度処理) 磯子P:㉛除塵機設備 磯子第二P:㉜除塵機設備
金沢	㉕能見台地区(地域防災拠点等流末枝線) ㉖泥亀地区 ㉗朝比奈地区(地域防災拠点等流末枝線)	金沢T:㉘導水渠 ㉙最初沈殿池防食覆蓋 ㉚水処理設備(高度処理) ㉛発電設備 南部C:㉜焼却炉設備 ㉝し渣分離・し渣搬送設備 金沢P:㉞ポンプ設備 ㉟耐水化
港北	㉞新横浜地区 ㉟新吉田地区	港北T:㊱オゾン消毒設備 樽町P:㊲管理棟 ㊳沈砂池設備 新羽P:㊴ポンプ設備 ㊵発電設備 北綱島P:㊶ポンプ設備
緑	㊷竹山地区 ㊸鴨居地区	
青葉	㊹恩田川左岸雨水幹線 ㊺あかね台地区(地域防災拠点等流末枝線)	
都筑	㊻すみれが丘地区 ㊼川和地区	都筑T:㊽ポンプ設備 ㊾汚泥調整槽防食覆蓋 ㊿水処理設備(高度処理) ㉑ゲート設備
戸塚	㉑下倉田地区(地域防災拠点等流末幹線) ㉒戸塚町地区 ㉓深谷町地区 ㉔原宿地区	西部T:㉕水処理施設 ㉖脱水機棟
栄	㉗小菅ヶ谷地区 ㉘飯島地区 ㉙野七里地区(地域防災拠点等流末枝線)	栄一T:㉚揚水施設耐震化 栄二T:㉛ポンプ設備 ㉜送風機設備 ㉝水処理施設防食 ㉞雨水調整池 ㉟沈砂池設備 ㊱雨水調整池設備
泉	㊲中和田雨水幹線 ㊳中田南雨水幹線 ㊴白百合地区 ㊵緑園地区(地域防災拠点等流末枝線) ㊶新橋地区 ㊷和泉地区 ㊸西が岡地区(地域防災拠点等流末枝線) ㊹上飯田地区	
瀬谷	㊺三ツ境地区 ㊻瀬谷地区 ㊼東野地区 ㊽阿久和西地区	

太字(ゴシック体)は令和5年度末までに完成予定、下線付きは再整備事業

下水道事業の主な整備箇所

